

令和6年度福知山市部活動改革検討会議
第1回会議次第

日 時：令和6年6月28日（金）

午後3時30分から

場 所：ハピネスふくちやま

2階多目的室

- 1 開会あいさつ
- 2 委嘱状交付
- 3 委員及び事務局の紹介
- 4 委員長及び副委員長の選出
- 5 昨年度の振り返り
- 6 部活動改革検討会議について
 - （1）部活動地域移行先進地の事例について
 - （2）令和6年度検討会議協議事項について
 - （3）スケジュールについて
- 7 令和6年度 福知山市における地域移行に係る実証事業の実施について
 - （1）令和6年度実施種目について
 - （2）スケジュールについて
 - （3）募集チラシについて
- 8 その他
- 9 閉会あいさつ

令和6年度 福知山市部活動改革検討会議委員名簿

(敬称略)

氏 名	所 属 ・ 役 職 等
いちだ ひろし 市田 博	福知山市立中学校長会（日新中学校 校長） 福知山市中学校体育連盟 会長
いまむら はづき 今村 はづき	福知山市立中学校教頭会（夜久野中学校 教頭） 福知山市中学校教育音楽部会 顧問
いしだ よしのり 石田 佳則	福知山市立成和中学校（教諭：野球部顧問）
おかべ せいろう 岡部 晴朗	一般財団法人福知山市スポーツ協会 事務局次長
ひえだ のりこ 稗田 勅子	公益社団法人福知山市文化協会 副会長
ながづみ じん 長積 仁	立命館大学 スポーツ健康科学部 学部長 京都府地域クラブ活動推進検討委員会 委員 (京都府教育委員会)
いのうえ ともゆき 井上 智行	中学校 PTA 代表
まきた かい 蒔田 快	小学校 PTA 代表
もりた てつや 森田 哲也	福知山市地域振興部 理事
い ず えいいち 伊豆 英一	福知山市教育委員会事務局 理事
ほそたに けい じ 細谷 恵滋	福知山市教育委員会事務局学校教育課 指導主事

○福知山市部活動改革検討会議 設置要綱

令和5年6月1日

(目的)

第1条 国における「運動部活動の地域移行に関する検討会議(スポーツ庁)」及び「文化部活動の地域移行に関する検討会議(文化庁)」の提言等を踏まえ、本市の生徒にとって望ましい部活動の在り方や地域移行等について検討を図るため、福知山市部活動改革検討会議(以下「検討会議」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 検討会議は次に掲げる事項について、意見交換及び必要な検討を行う。

- (1) 福知山市立中学校における部活動の在り方に関すること。
- (2) 福知山市立中学校の休日の部活動の地域移行に係る基本的な考え方に関すること。
- (3) その他目的達成のために必要な事項のほか、教育長が必要と認める事項

(組織)

第3条 検討会議は、10人程度とする。

2 委員は、次に掲げる者により構成し、教育長が委嘱又は任命する。

- (1) 福知山市立中学校長会 代表
- (2) 福知山市立中学校教頭会 代表
- (3) 福知山市立中学校運動・文化部活動顧問 代表
- (4) 一般財団法人福知山市スポーツ協会 代表
- (5) 公益社団法人福知山市文化協会 代表
- (6) 学識経験者
- (7) 福知山市立小・中学校PTA 代表
- (8) 福知山市
 - ・福知山市地域振興部 理事
 - ・福知山市教育委員会事務局 理事
 - ・福知山市教育委員会事務局学校教育課 指導主事

(事務局)

- ・福知山市地域振興部文化・スポーツ振興課
- ・福知山市教育委員会事務局学校教育課

(任期)

第4条 委嘱及び任命の日から当該年度末までとし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(委員の謝礼)

第5条 委員の謝礼の額は、日額8,000円とする。

(委員長)

第6条 検討会議に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、議事の運営にあたる。

3 委員長に事故のあるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

(委員)

第7条 委員は、それぞれの専門分野について必要な意見を述べるものとする。

(会議)

第8条 会議は、委員長がこれを招集する。

2 委員長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

(守秘義務)

第9条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第10条 検討会議の庶務は、教育委員会事務局学校教育課において処理する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、公表の日から施行する。

2 この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

取組内容 (成果まとめ)

11

- ▲ 現状のサッカー部活動の中では、少人数により、限られた練習・トレーニングとなる場合が多く、ホリデークラブとして活動することで、より大人数での練習・トレーニングができることとなり、内容の幅が広がった。また、他校の生徒と練習できる機会は、お互いに良い刺激になり、部活動の枠を越えて活動することによる充実が図れた。
- ▲ 部活動では、顧問の都合により活動機会が制限されることがあるが、ホリデークラブであれば登録する多数のコーチにより、継続的に指導を行うことができた。
- ▲ 生徒は複数のコーチによる専門的な指導を得ることができ、部活動顧問の指導に加えて他の指導者からの学びや気づきを得ることができた。このことにより、個のレベルアップにも繋がりと指導の充実が図れた。
- ▲ 民間運動施設の使用や生徒の移動手段の確保（スクールバスの活用）により、生徒にとってより豊かな活動機会の確保ができた。
- ▲ 休日において、学校部活動ではない位置づけの地域クラブ活動への移行を進めることができたことが大きな成果であった。この検証で得たことを次年度以降に生かしていきたい。

取組内容 (今後の課題)

- ▶ 教員（兼業兼職）でなくとも活動が成り立つスポーツ活動の仕組みづくりと人材確保。
- ▶ 練習場所、指導者の調整、生徒の出欠確認、家庭連絡、部活動や学校行事との調整、道具の管理など。部活動管理アプリの導入。
- ▶ 生徒の確保（学校にその種目の部活動がない生徒の募集）、小学生、保護者、市民への周知。体験会や説明会の開催。
- ▶ 指導者の人材バンクの構築。指導者育成のための研修の開催。
- ▶ 運営業務の委託（段階を経て一部委託から始めることへの検討）
- ▶ 活動費用の確認及び受益者負担に関する検討

**【R6年度 第1回検討会議】
先進地事例について
(24.06.28)**

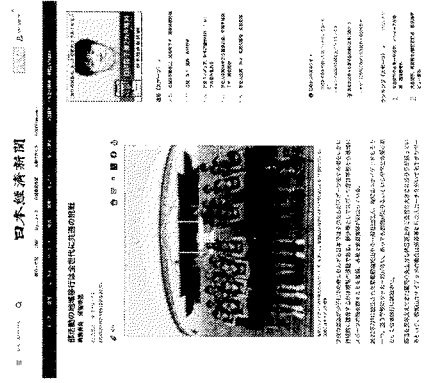
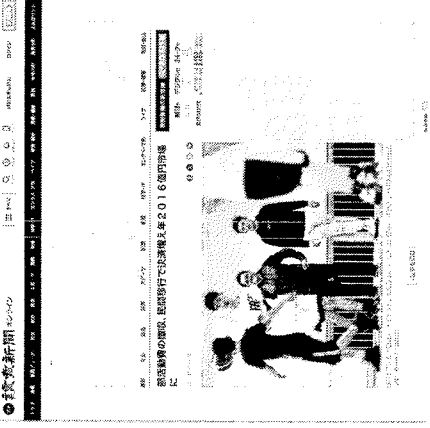
福知山市の事例はすでに全国区的に広がっている



イマチャレコンベンション2023SUMMER (23.08.18)

JFA 第1回部活動カンファレンス (24.03.17)

“田舎町”の星に 部活動の地域移行…全国のモデルになりそうな中学軟式野球チーム



FULL-COUNT様

読売新聞様

日経新聞様

BSよしもと様 ワシんとごポスト出演

事例①：静岡県掛川市

令和8年度を持って、平日も含めた部活動の完全移行を宣言されています。
明確なビジョンを言語化され、現在は教育委員会が主導となつた動いています。

掛川市の部活動改革「部活動地域展開」のビジョン

生涯に渡ってスポーツや文化活動に親しみ、地域全体のウェルビーイングを実現する

- すべての市民がスポーツや文化活動などを「する」「見る」「覚える」にチャレンジできる風土をつくる
- 変化の激しい社会においても、人も環境も持続可能な文化・スポーツ活動の仕掛けをつくる
- 固定観念や既存の手法にとらわれることの少ない柔軟な思考で、一歩先の未来を描いて新たな価値をつくる

魅力ある振興づくりチャレンジ！
部活動改革による「社会」の創造

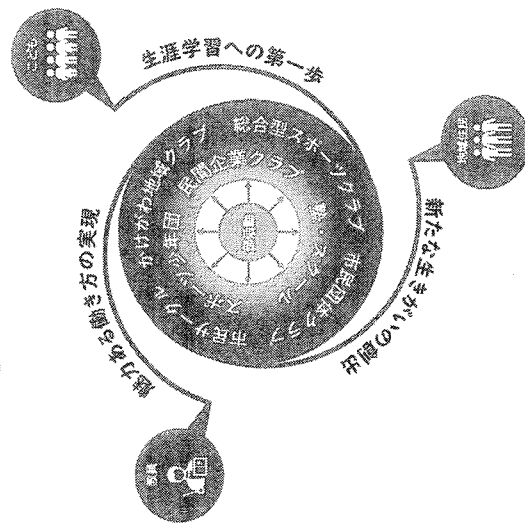
指導したい種目の指導に専念！
業種職種の役割を再構築

学校は地域住民の学び舎へ！
学校開放の推進、コミュニティスクールの活用

地域クラブ創設にチャレンジ！
地域クラブ（児童センター、かけがえの地域クラブ）創設推進

クラブの指導者としてチャレンジ！
新たな指導者層の育成

チャレンジを市民総ぐるみで応援！
企業との連携促進、クラブサポートの体制構築



部活動種目がない活動にチャレンジ！
部活動の種目にとらわれない「部活動の地域展開」

全国大会へ向けてチャレンジ！
競技力向上を目標とした多様な活動の推進

多世代の仲間と一緒にチャレンジ！
中高生世代に限定しない参加者の推進

様々な地域の仲間とチャレンジ！
中学校区を超えた活動仲間との連携

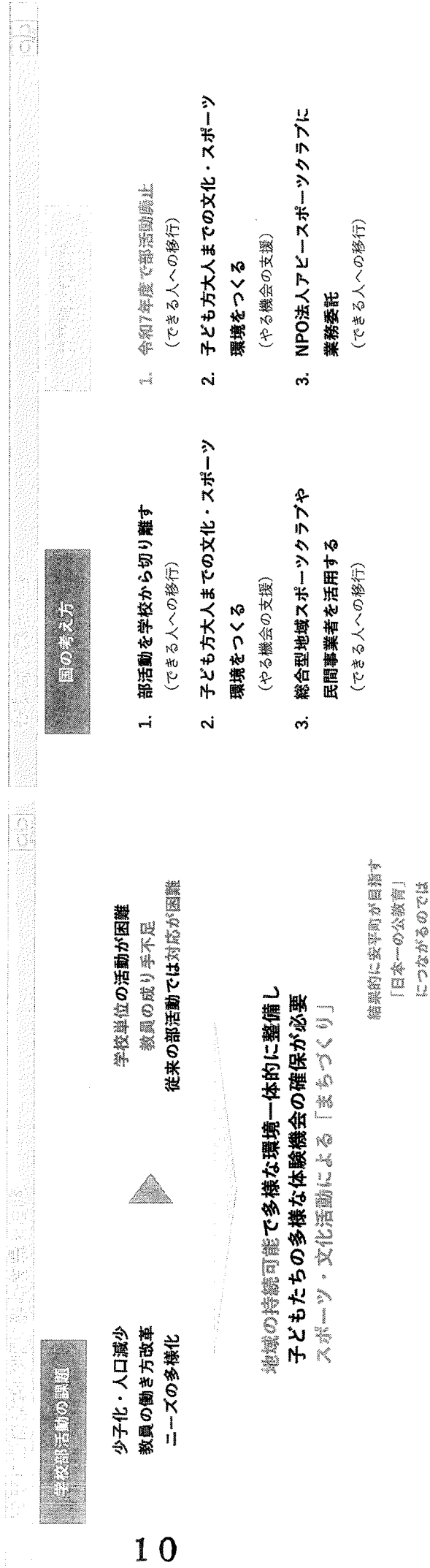
「する」から「支える」へチャレンジ！
別種の観念を取り入れ、新たな文化・スポーツ活動の振興を推進

健康な身体づくりへチャレンジ！
多様な活動のクラブ活動を推進

種数種目の活動にチャレンジ！
一貫性だけでなく多様な活動の在り方を推進

事例②：北海道安平町

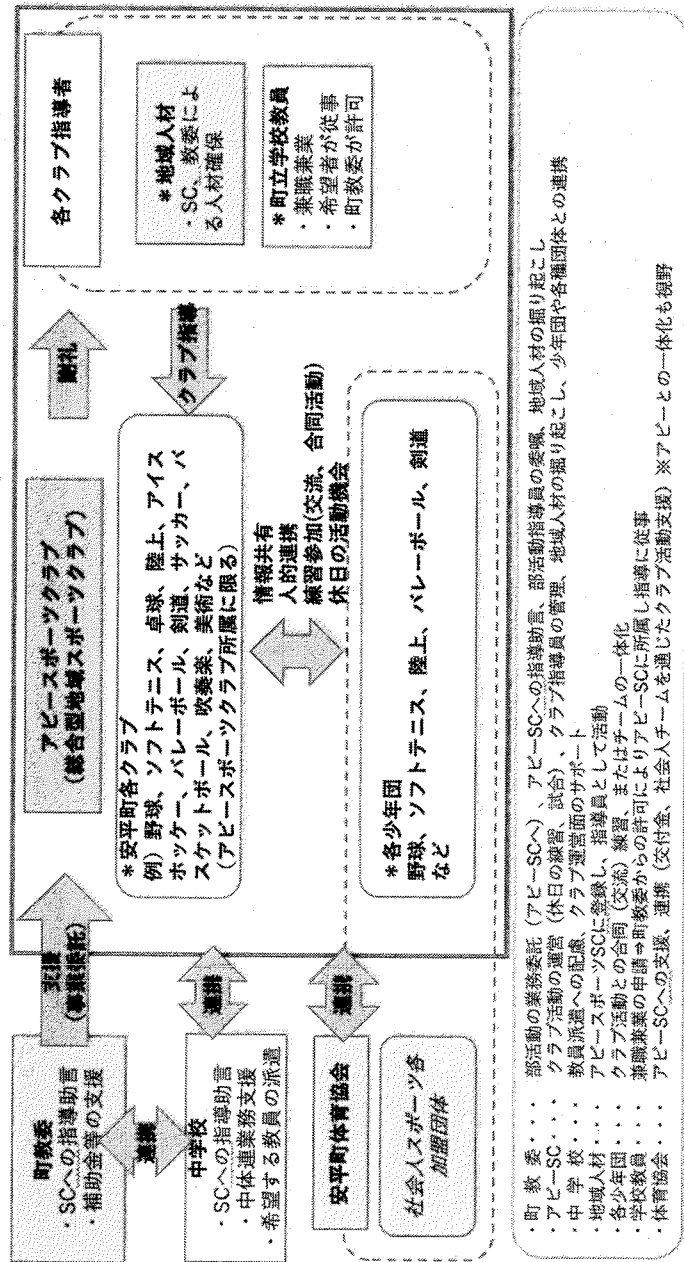
人口約7,000人の町における持続可能な「スポーツ・文化活動によるまちづくり」として、令和7年度をもって部活動の完全地域移行を進める



事例②：北海道安平町

アビススポーツクラブでの運営を中心に、
様々な関係者が関わり合い、サポートできる体制づくりの実現に向かい進捗中

部活動の地域移行に係る運営体制（案）



※2024年3月 イマチャレコンベンション資料参照

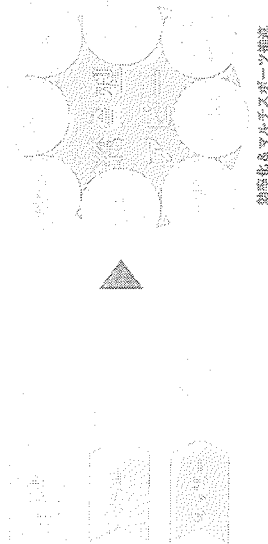
事例②：北海道安平町

運営を一元化していくことで、様々な運営効率や運営の充実を図ることができる

クラブ化の支援

従来は、各競技ごと保険登録が必要だった

アビィが包括することにより一元化

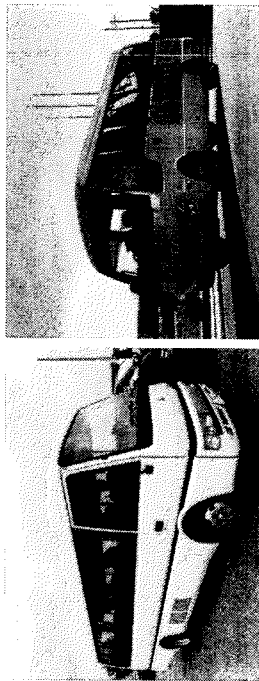


事業間支援

新規クラブ設立の仲介支援（規約、会費、会報、送迎、連絡手帳等）や選手の登録、保険の加入、体協会の案内などをアビィがサポート

送迎サポート

既存のマイクロバスと令和5年に新車購入したマイクロバスの2台体制で平日のみ運行（4月開始予定）
新車購入の財源はtoto助成金と企業スポンサーで賄った



2競技以上の登録時に発生してた
保険の二重登録も一元化し、
マルチスポーツの推進も図れる

新規クラブ設立に必要な
規約・会費・送迎等の
運営サポートも一元化できる

マイクロバスの活用による
送迎問題の解決にも取り組み

※2024年3月 イマチャレコンベンション資料参照

事例③：長崎県長与町

掛川市同様に、教育委員会が主体となり地域移行を積極的に推進。 1つの総合型地域スポーツクラブと教育委員会が連携を図っている。

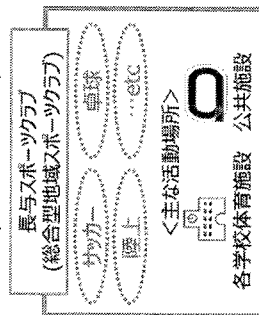
◆パターンの分類

- ① 多競技を抱える既存クラブ・団体(総合型地域スポーツクラブ等)が受け皿となる形

◆本事例の概要図

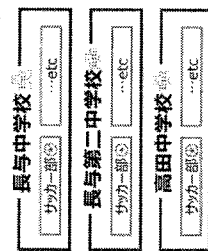
<受け皿>

- ◎ 参加者希望者は会員登録し、休日に活動
◎ 会費は月額3,000円+保険代(スポーツ安全保険)



<学校部活動>

- ◎ 平日の活動は各校での通常部活動



<指導者>

- ◎ 各校部活動における外部指導員のうち、活動趣旨等の条件※に同意された方々
(※)通知の上で同意、個人活動と参加することを認めている
(※)3年以上に指導経験を持つことを条件としている

<補足事項>

- ◎ 長与町教育委員会が地域移行の推進役を担い、長与スポーツクラブが運営事務を担っている。
◎ 2023年度より3校全ての部活動全12種目の休日の活動を地域移行。
◎ 学校部活動での外部指導員と、長与スポーツクラブでの指導者は、同一人物でも契約は主体団体ごとの契約で活動に従事している。

<体制充足の背景>

- ◎ 長与スポーツクラブは長与町民により平成21年に設立され、多種目・多世代・他志向のスポーツ教室を運営しており、スポーツ機会の普及環境が整っていた。
◎ 教育委員会主導で、地域移行に関する検討委員会を発足し、方策検討を開始。
◎ 先行して卓球部の地域移行に取り組み、先行事例としての効果検証をしつつ、徐々に多種目にも拡大させ、段階的な移行から一斉に移行することを計画。

◆想定課題に対する状況

実施主体	地域移行の推進にあたり、コーディネーターの役割が非常に重要。運営事務についても基盤強化が重要で、特に経理面では税理士の導入を予定している。
責任・管理	もともと学校部活動でも、休日の保護者の見回り当番があったが、長与スポーツクラブが主体となり、教育委員会と連携を図る体制へ。
指導者	学校部活動における外部指導員の方々が引き受けてくれていることに加え、大学生ボランティアスタッフもアシスタントしてくれている。(長崎大学が束ねる長崎市および近郊の大学生が集うボランティアセンターが派遣) また、指導者との面談制度を取り入れるなど、フィードバックやコミュニケーションの機会を設けている。
活動場所	3校が町内でコンパクトにまとまった位置関係にあることから、3校で活動場所を順番に回しても、移動負担は比較的少ない。
移動	試合や大会に行く際にはマイクロバスおよび運転手を1台保有しているため、乗り合いながら有効な移動手段として活用している。
費用	令和5年度文科省予算で提示された「地域スポーツ活動」に関する委託金を期待している。それが叶わなければToToの助成や寄付、企業版ふるさと納税などの打ち手も検討している。会費の値上げは現状考えていない。
大会出場	大会のレギュレーションに合わせ、合同での出場、各学校単位の部活動として出場など、子供たちが出場できるよう柔軟に対応する。

JFA

※JFA学校部活動の地域移行におけるパターンと事例紹介資料参照

町の地域スポーツ推進計画に記載し、「生涯スポーツ活動」と捉えることを明文化

※長与町地域スポーツ活動推進計画参照

地域移行の事業に「企業版ふるさと納税」を活用し、資金集めの枠組みを作っている

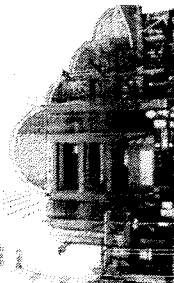
最近のニュースから

朝日新聞デジタル > 記事

神戸市、平日の中学部活動も地域移行へ 方針公表、2026年度から

多岐あかり 2024年07月19日 10時00分

最



神戸市教育委員会が公開した神戸ハーバーランドセンタービルに神戸市立東灘中学校の17号館

神戸市教育委員会は、2026年度から公立中学校の平日・休日の部活動を地域移行する方針を明らかにした。近く市議会の教育委員会委員会で説明する。国は23～25年度を「改革推進期間」とし、休日の部活動を段階的に地域移行していくことを目指している。

市教委の資料によると、新たな地域クラブ活動の名前を「KOBELAND KATSU（コベカツ）（仮称）」とする。地域のスポーツ団体などが主体となる方針だ。地域のクラブチームの指導者や希望する教員が指導し、学校施設だけでなく地域の施設も活動場所とする。

兵庫県神戸市

26年度から完全地域移行を発表

中学スポーツに激震 中体連が全中の運営見直し 水泳、体操、スキーなど9競技を27年度以降開催せず 少子化、教員の負担軽減を考慮 大会規模も縮小 競技団体困惑も

6月14日 15時59分 249 件のコメント



日本中学校体育連盟は8日、全国中学校体育大会（全中）についての運営見直し改定を各都道府県中学校体育連盟の会長、関係諸団体に発出し、現在夏季16競技、冬季4競技が行われている同大会について、令和9年度（27年度）以降は夏季11競技のみとすることを発表した。1競技は陸上、バスケ、ソフトボール、サッカー、軟式野球、バレーボール、バドミントン、卓球、バドミントン、ソフトボール女子、柔道、剣道。

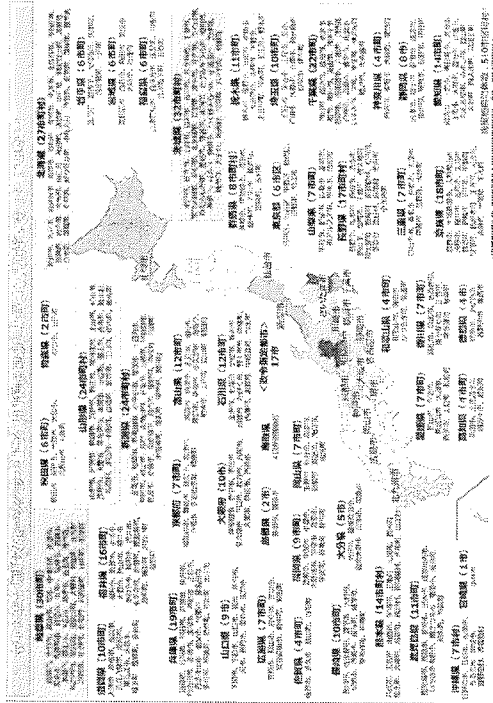


中学スポーツに激震が走った ※写真はイメージです (WavebreakMediaMicro/stock.adobe.com)

水泳、ハンドボール、体操、新体操、ソフトボール男子、相撲、スキー、スケート、アイスホッケーの計9競技は開催しない。原則として部活動設置率が20%未満の競技が縮減された。ただ、スキーに限っては開催地との契約終了年度となる令和11年度まで現在の大会規模を継続して実施する。

日本中学体育連盟

27年度から9種目の全国大会開催無しを発表



R6年度実証事業自治体

510自治体が始まる 全国の約1/3へ対象拡大

R6年度部活動改革検討会議タイムスケジュール予定

	検討会議時期	R5内容	R6内容
1 回目 検討 会議	R5年度 6月26日(月) R6年度 6月28日(金)	①委嘱状交付 ②委員及び事務局の紹介 ③委員長及び副委員長の選出 ④部活動地域移行の概要について ⑤令和5年度福知山市における地域移行に係る実証事業の実施について ⑥その他	①委嘱状交付 ②委員及び事務局の紹介 ③委員長及び副委員長の選出 ④昨年度の振り返りについて ⑤部活動改革検討会議について (1)令和6年度検討会議協議事項について (2)スケジュールについて ⑥部活動地域移行先進地の事例について ⑦令和6年度福知山市における地域移行に係る実証事業の実施について
2 回目 検討 会議	R5年度 9月21日(木) R6年度 8月予定	①令和4年度(R5.1)実施アンケートの分析結果の考察について ②令和5年度の実証事業の進捗状況報告 ③先進地視察報告 ④令和6年度のモデル実施について ⑤福知山市の部活動の今後の方向性について ⑥その他	①本市部活動地域移行の方針について(モデル案提示) ・移送 ・財源 ・運営 ・会場 ・指導者の確保 ・その他 ②生徒・保護者等の意見聴取について ③R7年度実証種目について(意見聴取)
3 回目 検討 会議	R5年度 11月13日(月) R6年度 10月予定	①ホリデークラブ(ソフトボール・サッカー)の実施状況・検討課題について ・実施状況 ・検討課題 ②令和6年度の実証事業計画について ・運動部活動 ・文化部活動 ③その他	①本市部活動地域移行の方向性について(前回は踏まえて) ・移送 ・財源 ・運営 ・会場 ・指導者の確保 ・その他 ②R6年度実証事業の途中経過について ③生徒・保護者等の意見聴取について(決定) ④R7年度実証種目について(意見聴取) ⑤その他
4 回目 検討 会議	R5年度 12月15日(金) R6年度 12月予定	①令和5年11月25日開催 「実証事業実施自治体における公開地域クラブ活動」の報告 ②第3回部活動改革検討会議の内容を受けて実施した検討委員アンケートを受けての協議事項について ○令和6年度までに確定させる事項について ・運営面 ・指導者 ・予算、運営資金 ・その他 ③令和5年度実施のアンケート内容について ④その他	①本市部活動地域移行の方向性について (前回は踏まえて検討) ・移送 ・財源 ・運営 ・会場 ・指導者の確保 ・その他 ②R6年度実証事業の途中経過について ③R7年度実証種目について(決定) ④その他
5 回目 検討 会議	R5年度 2月21日(水) R6年度 R7年2月予定	①令和5年度の成果報告 「令和5年度京都府運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の報告 ②令和6年度の部活動地域移行に係る検討について	①本市部活動地域移行の方向性について(確定) ・移送 ・財源 ・運営 ・会場 ・指導者の確保 ・その他 ②R6年度実証事業の振り返りについて ③R7年度実証種目について(決定) ④その他
6 回目 検討 会議	R5年度 未実施 R6年度 R7年3月予定		検討課題全般

福知山市における地域移行計画（案）

項目／年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
個人競技 (ペア競技・団体戦等を含む)		剣道	柔道		
			卓球・陸上・ソフトテニス		
団体競技	サッカー	バスケット男子・女子	野球・バレーボール女子		
	ソフトボール女子	バレーボール男子			
文化部 その他		合唱	吹奏楽その他文化部		
			ニュースポーツ マルチスポーツ マルチカルチャー		
運営	教育委員会	教育委員会 ＋一部委託	教育委員会 (専任職員の配置1年目/3年) ＋一部委託	文スポ (専任職員の配置2年目/3年) ＋一部委託	完全委託 (文スポ：サポート) (専任職員の配置3年目/3年)
	委託先（案）				
実施団体（案）					総合型地域スポーツクラブ・民間スポーツ団体 スポーツ協会・文化協会
総合型地域スポーツクラブ・民間スポーツ団体					
その他 (ALL福知山及び各協会及び連盟)					
総合型地域スポーツクラブ・スポーツ協会・文化協会					

令和6年度の実証事業の選定基準（拡充分）等について

- 児童生徒や中学校のニーズ及び、少子化により廃部（休部）となっている部活動を基本とし、現状で単独中学校での部活動の維持や存続が困難な種目を優先的に選んでいる。
- 令和5年度に実証を開始したソフトボール（合同部活動・団体競技）とサッカー（市域3ブロックによる地域クラブ）も継続して実施する。

①地域クラブ 活動（剣道）

- 令和5年度より、合同部活動の実証が実施できなかつた中学校側から要望があつた種目である。
- 現在、外部指導者として南陵中学校で指導していただいておられる方を部活動指導員として配置し、R6年度以降、日新中学校と、**合同部活動（個人競技）**を行うことで、生徒たちがより専門性の高い指導を受けることができる。
- 競技人口も限られておることから、競技経験のない部活動顧問にとつての負担感が大きいく、部活動指導員を配置することでの負担軽減が図れ、働き方改革にもつながる。

②地域クラブ （バスケットボール男女）

- 中学校入学後に入部したという児童生徒のニーズが高い競技である。
- しかし、サッカー同様単独出場が困難な確保と試合部員が増える種目である。
- **部員数を基に市域をブロックとして活動するモデル**として実施する。

③地域クラブ （バレーボール男）

- 現在、女子のみ活動している学校はあるが、生徒数の減少により、廃部となった経緯がある。
- 令和5年度にも男子バレーボール部を復活させてほしいという生徒・保護者からのニーズがあった種目である。
- **全市域（全9校）を対象として地域クラブとして活動するモデルとして実施する。**

④地域クラブ 活動（合唱）

- 少子化により廃部となり、学校音楽祭や児童合唱団で歌う喜びや楽しさを味わつた児童たちの活動の場が継続できない状況がある。
- 合唱連盟からの期待も大きく、活動に対して協力体制をとるとの申し出も受けており、外部指導者の推薦も得られ、福知山初の**文化部活動の地域移行の実証モデル**として全市域（全9校）を対象として実施する。



福岡山教育委員会

令和6年度福岡山市休日部活動地域移行実証事業



本市では令和5年度から「ホリデークラブ」を開始しました。これは「学校と地域が連携し、地域団体等が実施する活動へ段階的に移行していくこと」を目指しています。現在、学校部活動と並行して、子どもたちが多様な活動を体験できる機会や選択肢を提供し、スポーツや文化芸術活動が可能な環境整備を進めるための実証事業を行っています。今年度は、昨年度の「サッカー・ソフトボール女子」に加えて、さらに4種目を加えてホリデークラブを展開していきます。

参加者の
レベルに応じた
活動を行います



対象種目

- 01 サッカー
日新・南陵中学校を除く市立中学校
- 02 ソフトボール女子
福岡山市内の全市立中学校
- 03 バスケットボール男子
日新・南陵中学校を除く市立中学校
- 04 バスケットボール女子
日新・南陵中学校を除く市立中学校
- 05 バレーボール男子
福岡山市内の全市立中学校
- 06 剣道
福岡山市内の全市立中学校
- 07 合唱
福岡山市内の全市立中学校

日程

00月00日金 開始予定
9月以降に各競技順次開始予定

実施場所

各競技ごとに決定いたします。

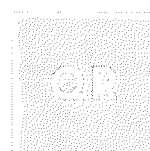
指導者

外部の指導者

(地域・スポーツ協会の指導者、教員経験者、外部指導者の登録済教員)

応募方法

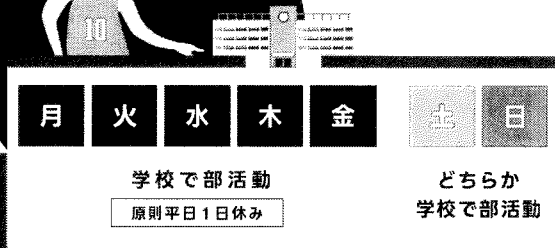
各競技、右記QRコードより応募登録をお願いいたします。
各競技の詳細が確定後、事務局よりご連絡いたします。



ホリデークラブ（休日の地域クラブ活動：サッカー）の開催について

本市では令和 5 年度から「ホリデークラブ」を開始しました。これは「学校と地域が連携し、地域団体等が実施する活動へ段階的に移行していくこと」を目指しています。現在、学校部活動と並行して、子どもたちが多様な活動を体験できる機会や選択肢を提供し、スポーツや文化芸術活動が可能な環境整備を進めるための実証事業を行っています。今年度は、昨年度の「サッカー・ソフトボール女子」に加えて、さらに 4 種目を加えてホリデークラブを展開していきます。

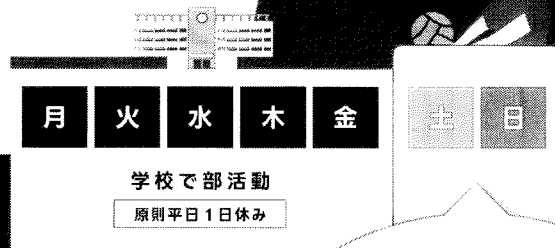
現状



実施する曜日について

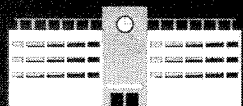
...

地域移行後



活動場所への移動について

...



対象中学校

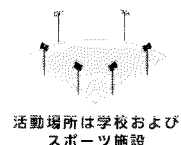
三和中・大入部中・桃陵中
夜久野中・川口中・入江中・成和中



スクールバス活用や保護者送迎も含めた
移動における実証事業となります



(地域クラブ活動)



電話でのお問合せ /

0773-24-7063

福知山市教育委員会 学校教育課

参加お申し込みについて

...



表面の右下にある QR コードから応募登録をいただくか、
下記申込み用紙にご記入の上、各中学校の担当者にお渡しください。

キリトリ線

フリガナ 名前	生年月日	年	月	日	性別	男	女
学校名	中学校	学年					
住所							
保護者名					電話番号		

体調面等配慮すべきことがあればご記入ください。

	種目	クラブチーム	市教委
1	野球	中丹オールスターズ	
2	ソフト		ホリデークラブ
3	バレーボール男子	サルー	ホリデークラブ
4	バレーボール女子	シンシア	
		大井ヤング（亀岡）	
5	バスケットボール男子	F J B C	ホリデークラブ
		スキルクラス	
6	バスケットボール女子	オレンジスピリッツ	ホリデークラブ
7	ソフトテニス	白扇会	
		福知山ファイツ	
8	卓球	大江クラブ	
		福卓クラブ	
		一条クラブ	
		F J T T C	
		紫遊クラブ（綾部）	
		P T Cクラブ（綾部）	
		紫水クラブ（綾部）	
9	サッカー	グランツ	ホリデークラブ
10	陸上競技	合同練習会	
11	柔道	福知山柔道教室	
		西舞鶴柔道教室（舞鶴）	
12	剣道	小桜道場	ホリデークラブ
		夜久野剣友会	
13	バドミントン	福知山ジュニア	
14	ラグビー	J・福知山ラグビースクール	
15	体操	ディナモ	
		ムーブ	
		リブコム（舞鶴）	
16	水泳	NSI福知山	
17	硬式テニス	福知山ジュニアテニスクラブ	
18	総合スポーツ	Z A C	
19	合唱		ホリデークラブ

第1回 福知山市部活動改革検討会議資料

福知山市中学校長会

		1学期末テスト	2学期末テスト	3学期末テスト (1,2年)	6月以降の休日登校日
1	桃映	6/26(水)～28(金)	11/27(水)～29(金)	2/26(水)～28(金)	なし
2	南陵	6/26(水)～28(金)	11/27(水)～29(金)	2/26(水)～28(金)	10/26(土)文化祭
3	成和	6/26(水)～28(金)	11/20(水)～22(金)	2/26(水)～28(金)	なし
4	六人部	6/26(水)～28(金)	11/25(月)～27(水)	2/26(水)～28(金)	なし
5	川口	6/24(月)～26(水)	11/25(月)～27(水)	2/25(火)～27(木)	10/5(土)体育祭、11/2(土)文化祭
6	日新	6/26(水)～28(金)	11/27(水)～29(金)	2/26(水)～28(金)	なし
7	三和	6/26(水)～28(金)	11/25(月)～27(水)	2/26(水)～28(金)	11/10(日)三和フェスティバル
8	夜久野	7/1(月)～3(水)	11/27(水)～29(金)	2/26(水)～28(金)	9/28(土)体育祭、2/1(土)授業参観
9	大江	6/26(水)～28(金)	11/27(水)～29(金)	2/26(水)～28(金)	12/7(土)授業参観

部活動 6/22(土),23(日) 11/23(土),24(日) 2/22(土),23(日),24(月)
停止 (夜久野中除く) (成和中除く) (全中学校停止)